

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	長澤 浩平	平成15年度厚生労働科学研究費補助金	特定疾患対策 研究事業 骨・関節系研究 班特発性大 腿骨頭壊死症 調査研究分科 会(分担)	SLE 大腿骨頭壊死症の予防に関する 研究	1,500
講師	多田 芳史	平成15年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ICOS の自己免疫疾患における作用の 検討および治療への応用に関する研究	1,800
講師	多田 芳史	平成15年度厚生労働科学研究費補助金	特定疾患対策 研究事業 混合性結合組 織病に関する 研究班(分担)	混合性結合組織の病態, 治療と抗 U1RNP に関する研究	395
助手	小荒田秀一	平成15年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞を標 的とした免疫学的治療に向けた研究	1,800

神経

著書

- 1 黒田康夫：ギラン・バレー症候群。山口 徹，北原光夫 総編：2003今日の治療指針 605-606。医学書院。東京 2003。
- 2 黒田康夫：人のプリオン病 2 疫学。品川森一，立石 潤，山内一也監修：人と動物のプリオン病 41-50。近代出版。東京 2003。
- 3 黒田康夫：Gerstmann-Straussler-Scheinker 症候群。精神医学症候群 III 324-327。日本臨床社。東京 2003。
- 4 黒田康夫：Q & A とイラストで学ぶ神経内科。新興医学出版。東京 2003。

学術論文

- 1 池内雅樹，古賀道明，松石英城，黒田康夫：Haemophilus influenzae 感染の先行が示唆された急性散在性脳脊髄炎。神経内科 58：576-580，2003。
- 2 江里口誠，黒原和博，黒田康夫：プリオン病—最近の知見 感染対策。老年精神医学雑誌 714：1502-1507，2003。
- 3 尾上祐行，雪竹基弘，黒原和博，高島 洋，黒田康夫。Focal laryngeal dystonia による呼吸困難発作をくりかえした Parkinson 病の一例。臨床神経学，43：192-194，2003。
- 4 黒田康夫。ギランバレー症候群について。NHKきょうの健康 183：138，2003。
- 5 黒原和博，黒田康夫：急性小脳炎。耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (JOHNS) 19：915-918，2003。
- 6 永石彰子，黒田康夫。前頭葉。Clinical Neuroscience, 21: 296-298, 2003。

- 7 永石彰子, 高島 洋, 福田安雄, 黒田康夫. 血清 vitamin B12 値正常の亜急性連合変性症の 1 例. 臨床神経学, 43: 552-555, 2003.
- 8 長山成美, 山村 隆; 抗コレステロール薬による Th2 優位の誘導—MS の治療への応用は可能か— . 臨床免疫, 40: 205-208, 2003.
- 9 長山成美, 山村 隆; Molecular mimicry (分子模倣) と疾患(3); 実験的自己免疫性脳脊髄炎と多発性硬化症. 医学のあゆみ, 206: 845-848, 2003.
- 10 Satoh J, Yukitake M, Kurohara K, Tkashima H, Kuroda Y.: Detection of 14-3-3 protein in the cerebrospinal fluid of Japanese multiple sclerosis patients presenting with severe myelitis. J. Neurol. Sci 212: 11-20, 2003.
- 11 高島 洋, 黒田康夫: 脳脊髄液採取法と性状. Clinical Neuroscience, 21: 882-883, 2003.
- 12 高島 洋, 尾上祐行, 黒原和博, 齋田哲也, 黒田康夫: 成人発症亜急性硬化性全脳炎患者への interferon, ribavirin 併用脳室内投与の試み. 神経治療学 20: 583-586, 2003.
- 13 Takashima H, Eriguchi M, Nakamura T, Satoh J, Kuroda Y, Udono H, Uchino A: Interferon therapy-responsive brain metabolic abnormalities in a case of adult-onset subacute sclerosing panencephalitis evaluated by¹H-MRS analysis. J Neurol Sci 207: 59-63, 2003.
- 14 Takashima Y, Yao H, Koga H, Endo K, Matsumoto T, Uchino A, Akiyoshi F, Yuzuriha T, Kuroda Y: Frontal lobe dysfunction caused by multiple lacunar infarction in community-dwelling elderly subjects. J Neurol Sci 214: 37-41, 2003.
- 15 薬師寺祐介, 峰松一夫: 脳血管障害. 検査と画像診断. 現代医療 35: 2739-2745, 2003
- 16 薬師寺祐介, 大坪亮一, 八坂正弘, 峰松一夫, 山口武典: 高度粥状硬化病変を伴わない大動脈弓部に生じた可動性巨大血栓による脳塞栓症の 1 例. 脳と循環 9: 53-58, 2003.
- 17 Yukitake M, Satoh J, Katamine S, Kuroda Y.: EAAT4 mRNA expression is preserved in the cerebellum of prion protein-deficient mice. Neurosci Lett. 352: 171-174, 2003.
- 18 雪竹基弘, 尾上祐行, 阿南真由美, 高瀬幸徳, 黒田康夫. MRI 脂肪抑制画像が早期診断に有用であった急性脊髄硬膜外血腫の一例. 臨床神経学, 43: 284-286, 2003.

学会発表

- 1 黒原和博, 尾上祐行, 雪竹基弘, 高島 洋, 高嶋 博, 中川正法, 黒田康夫: 遺伝性延髄萎縮症または晩発型 Alexander 病. 第44回日本神経学会総会. 2003, 5, 15-17. 抄録集 121頁.
- 2 Kurohara K, Narimatsu F, Yakushiji Y, Yukitake M, Yoshimura T, Yasunaga M, Satoh T, Sugita Y, Kuroda Y. Mononeuritis multiplex due to immune complex vasculitis associated with acquired C1 esterase inhibitor deficiency. Proceedings of the 44th Annual Meeting of the Japanese Society of Neuropathology. May 29-31, 2003. Neuropathology 2003; 23(2): A66.
- 3 黒原和博, 山口加奈子, 田中 彩, 薬師寺祐介, 雪竹基弘, 黒田康夫: 遺伝性プリオン病に対する quinacrine と chlorpromazine の併用療法. 第21回日本神経治療学会総会. 2003, 6, 11-13. 神経治療学 20: 357, 2003.
- 4 *中川正法, 岡本裕嗣, 高嶋 博, 有里敬代, 今泉登史宏, 綾部光芳, 庄司紘史, 黒原和博, 黒田康夫: 脊髄萎縮と GFAP 変異: 成人発症アレキサンダー病. 第44回日本神経学会総会. 2002 5, 15-17. 抄録集 121頁.
- 5 高島 洋, 雪竹基弘, 水田敏彦, 山本匡介, 黒田康夫. 原発性胆汁性肝硬変を合併した重症筋無力

症の3症例. 第44回日本神経学会総会. 2003, 5, 17. 抄録集: 263頁.

- 6 雪竹基弘, 阿南真由美, 尾上祐行, 永石彰子, 黒原和博, 高島 洋, 本村政勝, 吉村俊朗, 黒田康夫: パーキンソニズム, 小脳失調を合併した遺伝性運動・感覚性ニューロパチーの一家系. 第44回日本神経学会総会. 2003, 5, 15-17. 抄録集 131頁.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	黒田 康夫	厚生科学研究費補助金	特定疾患対策研究事業	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 PMLの全国調査	1,000
助手	雪竹 基弘	厚生科学研究費補助金	特定疾患対策研究事業	スモンに関する調査研究班 佐賀県のスモン患者実態調査	600

消化器 (光学医療診療部を含む)

著書

- 1 藤本一眞: 逆流性食道炎, 食道潰瘍, バレット食道, 食道裂孔ヘルニア. 山口 徹, 北原光夫 監修: 今日の治療指針2003. 312-313. 医学書院. 東京 2003.
- 2 藤本一眞: 体重減少, 意外と多いうつ病. 加嶋 敬, 編集: 消化器診療二頁の秘訣. 6-7. 金原出版. 東京 2003.
- 3 藤本一眞: 実際にICD-10を使用する場合の問題点, 胃食道逆流症を中心に. 藤原研司, 柳田邦男, 編集: 新しい医療を拓く. 69-71. 医学書院. 東京 2003.
- 4 藤本一眞: 診療研究に思うこと. 寺野 彰, 編集: 消化器病の診療研究に思うこと. 244-245. メディカルレビュー社. 東京 2003.
- 5 藤本一眞: 生活習慣病としての食と消化器疾患. 木村 健, 藤盛孝博, 加藤 洋, 編集: 消化器癌のサーベイランス. 6-9. 新興医学出版社. 東京 2003.
- 6 藤本一眞: 腸液分泌. 黒川 清, 松澤佑次, 編集: 内科学第2版. 690-693. 文光堂. 東京 2003.
- 7 小田佳代子, 藤本一眞: 胸やけ・げっぷ. 高久史麿, 総監修: 外来診療のすべて (第3版). 152-153. メジカルビュー社. 東京 2003.
- 8 綱田誠司, 藤本一眞: 消化と吸収. 戸田剛太郎, 税所宏光, 寺野 彰, 幕内雅敏, 編: Annual Review 消化器. 133-137. 中外医学社. 東京 2003.

学術論文

- 1 藤本一眞: 消化吸収に対する中枢神経の関与. 臨床消化器内科 18: 1405-1409, 2003.
- 2 Fujimoto K, Iwakiri R, Okamoto K, Oda K, Tanaka A, Tsunada S, Sakata H, Kikkawa A, Shimoda R, Matsunaga K, Watanabe K, Wu B, Nakahara S, Ootani H, Ootani A: Characteristics of gastroesophageal reflux disease in Japan: increased prevalence in elderly women. J. Gastroenterol. 38(suppl 15): 3-6, 2003.
- 3 藤本一眞, 小田佳代子, 田中晶子: 症候性GERDの疫学. 実験治療 669: 6-9, 2003.
- 4 藤本一眞, 大谷顕史, 藤瀬剛弘, 岩切龍一: 小腸粘膜の形態維持と生理機能に対する中枢神経系の